

2019年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2018年7月31日
(証券コード6157)

目次

1. 2019年3月期1Qの業績	P. 3	・・・	第1四半期決算の概要
	P. 4	・・・	営業利益の増加要因
	P. 5	・・・	損益計算書サマリー
	P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
	P. 7	・・・	四半期業績推移
2. 2019年3月期の業績見通し	P.14	・・・	業績見通し
	P.15	・・・	第1四半期における進捗状況
	P.16	・・・	配当予想
< 参考資料 >	P.18	・・・	過去5年間の業績と 主要データ推移
	P.19	・・・	投資指標
	P.20	・・・	株価推移とバリュエーション
	P.21	・・・	I R 情報サイトのご案内

**2019年3月期
第1四半期の業績**



第1四半期決算の概要

売上高、利益ともに四半期ベースでの過去最高を更新

(百万円)

	2018年3月期 1Q累計	2019年3月期 1Q累計	上期予想	進捗率
売上高	2,288 (+5.2%)	2,686 (+17.4%)	5,280 (+12.6%)	50.9%
営業利益	644 (+10.2%)	777 (+20.6%)	1,420 (+15.8%)	54.8%
経常利益	651 (+10.5%)	778 (+19.5%)	1,440 (+15.9%)	54.1%
四半期純利益	412 (+9.5%)	486 (+18.1%)	970 (+6.9%)	50.2%

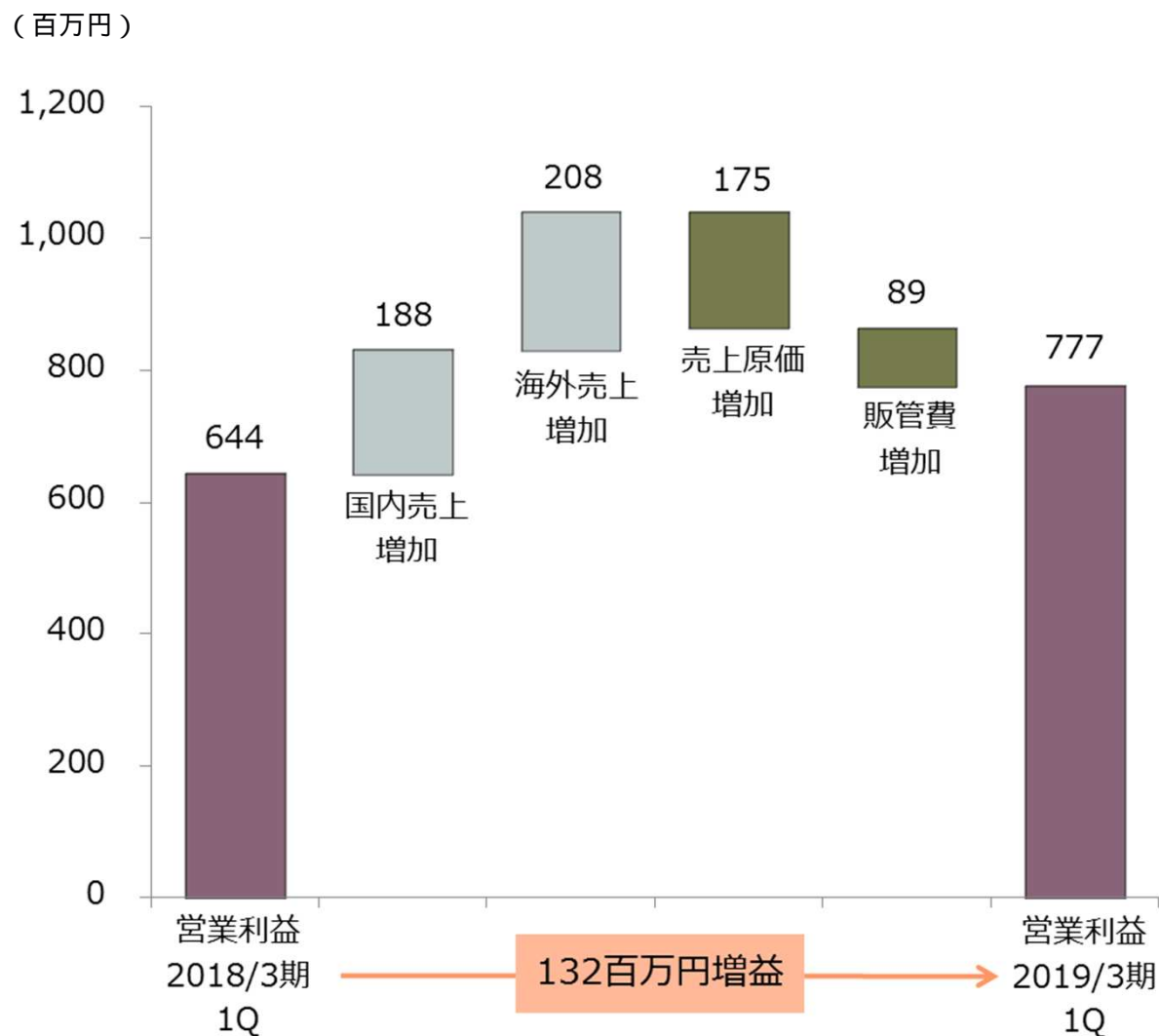
()内は前年同期比増減率

引き続き工具需要が堅調に推移したことから、連結売上高は前年同期比17.4%増の2,686百万円。上期予算に対する進捗率は、50.9%と計画通りのスタートとなった。

連結経常利益は前年同期比19.5%増の778百万円。上期予算に対する進捗率は54.1%で売上高のそれを上回った。

売上高経常利益率は29.0%、前年同期の28.5%から0.5ポイント向上。

営業利益の増加要因



国内売上高は前年同期に比べ188百万円（10.6％）の増加、海外売上高も同208百万円（41.0％）増加し、売上高全体では前年同期比17.4％増の2,686百万円と四半期ベースでの過去最高を更新。

397百万円の売上高増加に対して、売上原価は175百万円の増加。前年同期に比べ売上増に対する売上原価増の比率が増えたが、前年は日進工具香港における1-3月と4-6月の売上の差が大きかったため、連結上減算される原価が大きかったことによる。

販管費は前年同期に比べ展示会の数が増えたことから、展示会費や交際費が増加。海外施策により一時的に販促費も増加した。

営業利益は777百万円で、前年同期比132百万円、20.6％の増加。売上高営業利益率は同0.8ポイント上昇の29.0％であった。

損益計算書サマリー

(百万円)

	2018年3月期 1Q累計	2019年3月期 1Q累計	前年同期比
売上高	2,288	2,686	+17.4%
売上総利益 (率)	1,355 (59.2%)	1,577 (58.7%)	+16.4%
販管費 (率)	710 (31.1%)	799 (29.8%)	+12.5%
営業利益 (率)	644 (28.2%)	777 (29.0%)	+20.6%
経常利益 (率)	651 (28.5%)	778 (29.0%)	+19.5%
四半期純利益 (率)	412 (18.0%)	486 (18.1%)	+18.1%
設備投資額	124	117	-5.7%
減価償却費	148	142	-4.0%
従業員数	324人	332人	+2.5%

()は売上高に対する比率

売上高は順調な市況を反映し前年同期比17.4%増加の2,686百万円と四半期ベースでの最高を更新。

売上総利益も同16.4%増の1,577百万円と拡大したが、売上総利益率は58.7%と0.5ポイント低下。

販管費は、展示会費等により同12.5%増加したが、売上高の拡大により販管費比率は29.8%と1.3ポイント低下。

営業利益は同20.6%増加の777百万円。売上高営業利益率も0.8ポイントアップし29.0%。

今期の設備投資予算は925百万円と例年に比べ多額だが、第1四半期での実績は117百万円に止まった。

中途、新卒の採用により従業員は8名増加。

貸借対照表サマリー

(百万円)

	2018年 3月期	構成比	2019年 3月期1Q	構成比	前期比
(資産の部)					
流動資産	9,702	67.1%	9,006	65.0%	-7.2%
現金及び預金	6,325	43.7%	5,502	39.7%	-13.0%
受取手形及び売掛金	1,508	10.4%	1,592	11.5%	+5.6%
棚卸資産	1,745	12.1%	1,765	12.7%	+1.1%
固定資産	4,764	32.9%	4,848	35.0%	+1.8%
有形固定資産	4,010	27.7%	3,975	28.7%	-0.9%
無形固定資産	156	1.1%	157	1.1%	+1.0%
投資その他の資産	598	4.1%	716	5.2%	+19.6%
資産合計	14,467	100.0%	13,855	100.0%	-4.2%
(負債の部)					
流動負債	1,961	13.6%	1,417	10.2%	-27.7%
買掛金	281	1.9%	306	2.2%	+9.1%
固定負債	503	3.5%	281	2.0%	-44.1%
負債合計	2,465	17.0%	1,699	12.3%	-31.1%
(純資産の部)					
純資産合計	12,002	83.0%	12,156	87.7%	+1.3%
負債・純資産合計	14,467	100.0%	13,855	100.0%	-4.2%

流動資産は、売上増に伴い前期末に比べ売掛金が増加した一方、法人税や賞与の支払いにより現預金が減少したこと等から7.2%減少した。

固定資産は若干増加したものの、流動資産の減少が勝り、資産合計は同4.2%減少

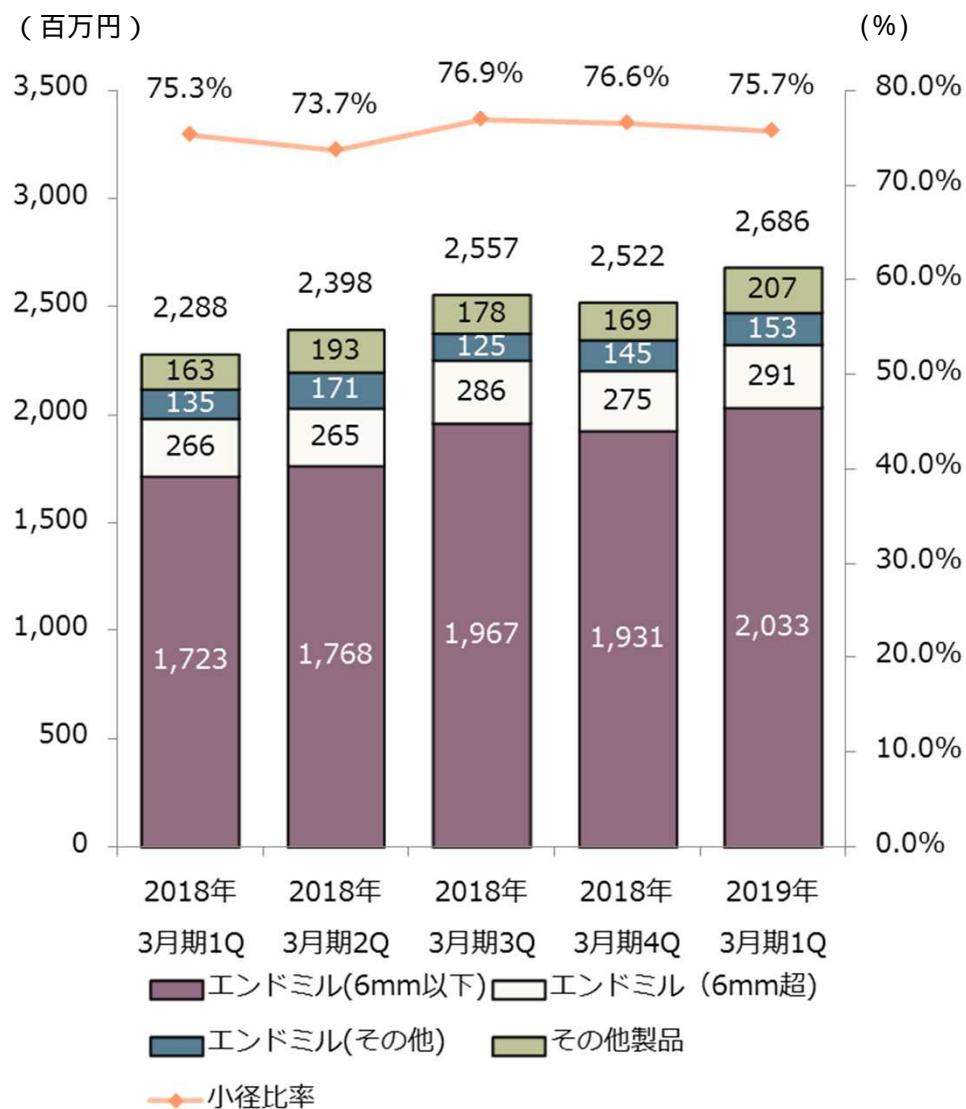
流動負債は、賞与引当金や未払法人税等の支払いにより同27.7%減少。

固定負債は、前会長の役員退職慰労金の支払い等から同44.1%減少。

純資産合計は同1.3%増加したが、負債合計の減少が上回り、負債・純資産合計は同4.2%の減少。

四半期業績推移（売上高の推移 製品別）

製品別売上高と小径比率の推移



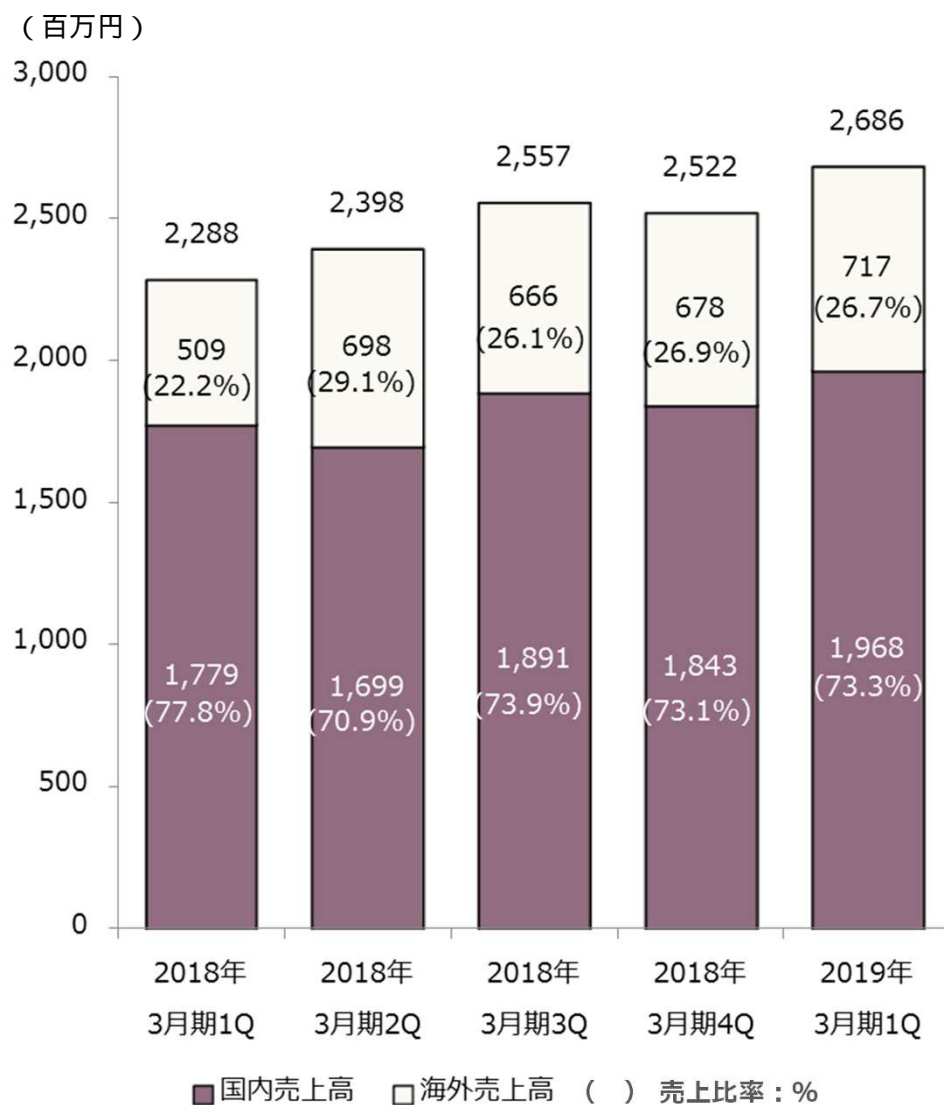
スマートフォン向けの需要はやや鈍化がみられたものの、AIやIoTの進展に伴うメモリ需要や車載向け電子部品需要の拡大が続いたほか、半導体製造装置や工作機械・ロボット関連も忙しい状況が続き、工具需要は堅調に推移。連結四半期売上高は2,686百万円と四半期ベースでの過去最高を更新。

製品別では、すべての区分が前年同期比、前四半期比ともに増加。

CBN等の小径高付加価値製品が伸びたものの、他製品区分も増加し、小径比率は75.7%と横ばい圏。

四半期業績推移（売上高の推移 国内・海外）

国内・海外売上高の推移

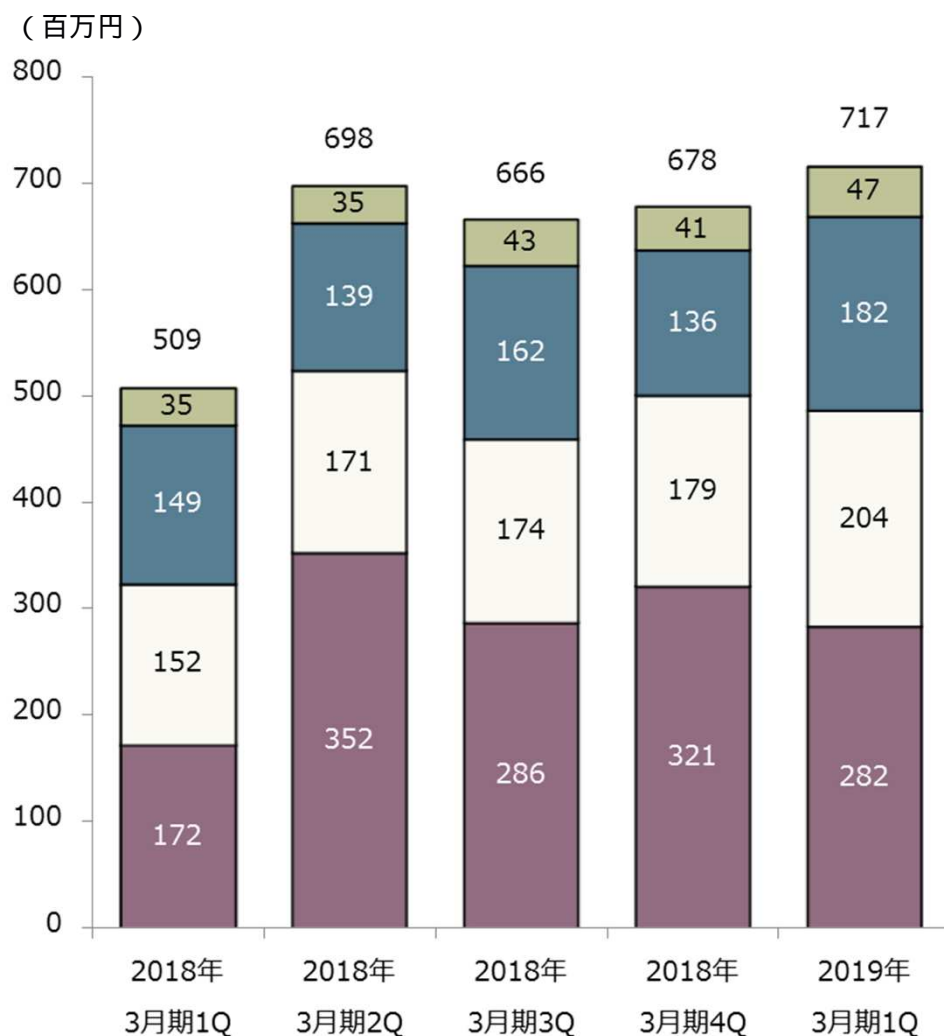


海外売上高は前年同期を41.0%上回る717百万円と国内売上高の同10.6%に比べ大きく増えたが、前四半期比では5.8%増と国内の6.8%増を下回った。

海外売上高比率は26.7%となり、前年同期の22.2%から4.5ポイントアップしたが、ここ3四半期は26%台での推移となっており。海外、国内ともに伸びている状況。

四半期業績推移（売上高の推移 海外地域別）

海外地域別売上高の推移



ヨーロッパは四半期ごとの上下はあるものの増加傾向となっており、前年同期比+22.8%、前四半期比でも+34.4%と堅調。

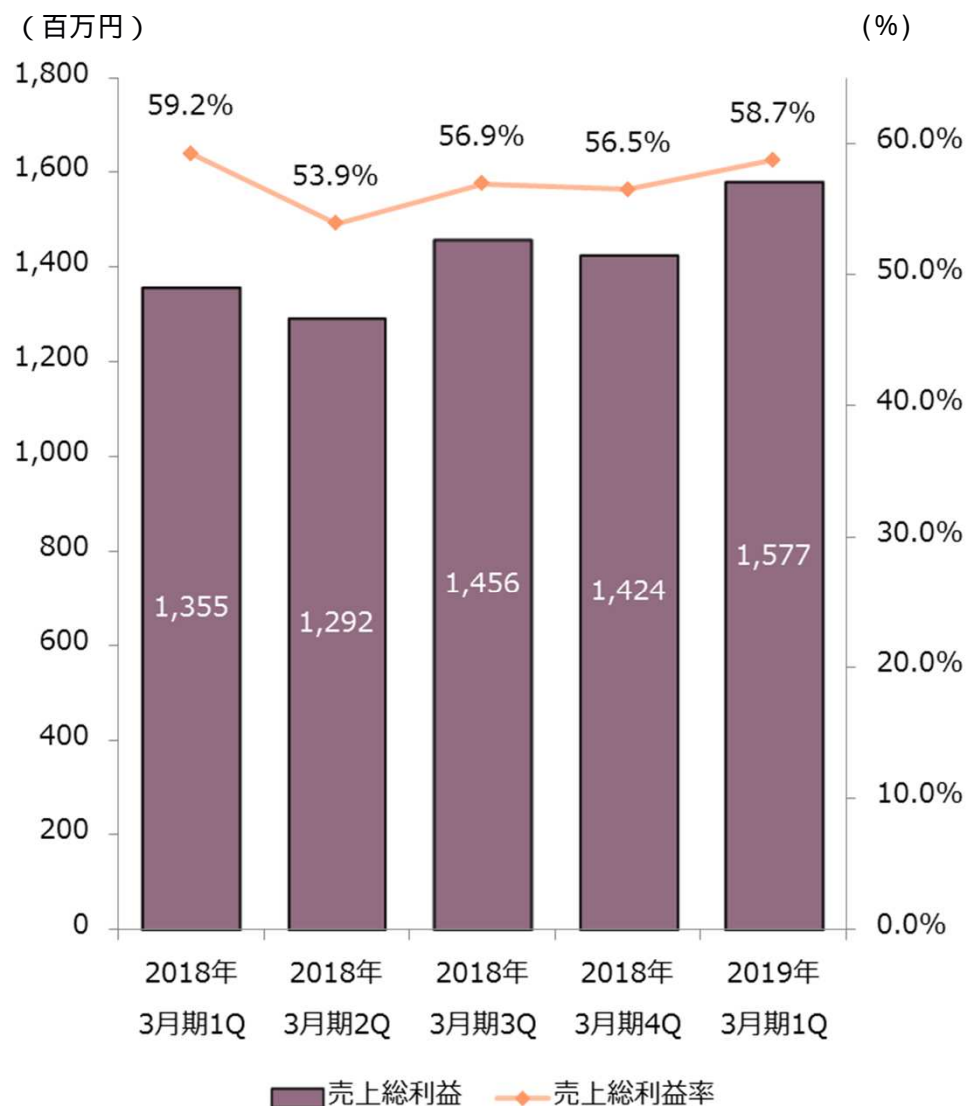
タイを中心としたその他アジアは、前年度の第2四半期以降170百万円台が続いていたが、当四半期は204百万円と水準を切り上げた。

中国・香港・台湾向けは、最大の輸出先となる中国のスマートフォン向けの需要サイクルに影響を受けるため、前年同期比では+64.1%と増加したが、前四半期比では12.0%と減少。なお中国向けの販売を行う日進工具香港の連結にあたり、会計上3ヶ月のタイムラグが発生するため、第1四半期の連結対象期間は1月～3月となっている。この時期は春節等もあり例年他の四半期に比べ少なくなるが、今年は減少幅が限られた。

■中国・香港・台湾 □その他アジア ■ヨーロッパ ■アメリカほか

四半期業績推移（売上総利益の推移）

売上総利益と売上総利益率の推移

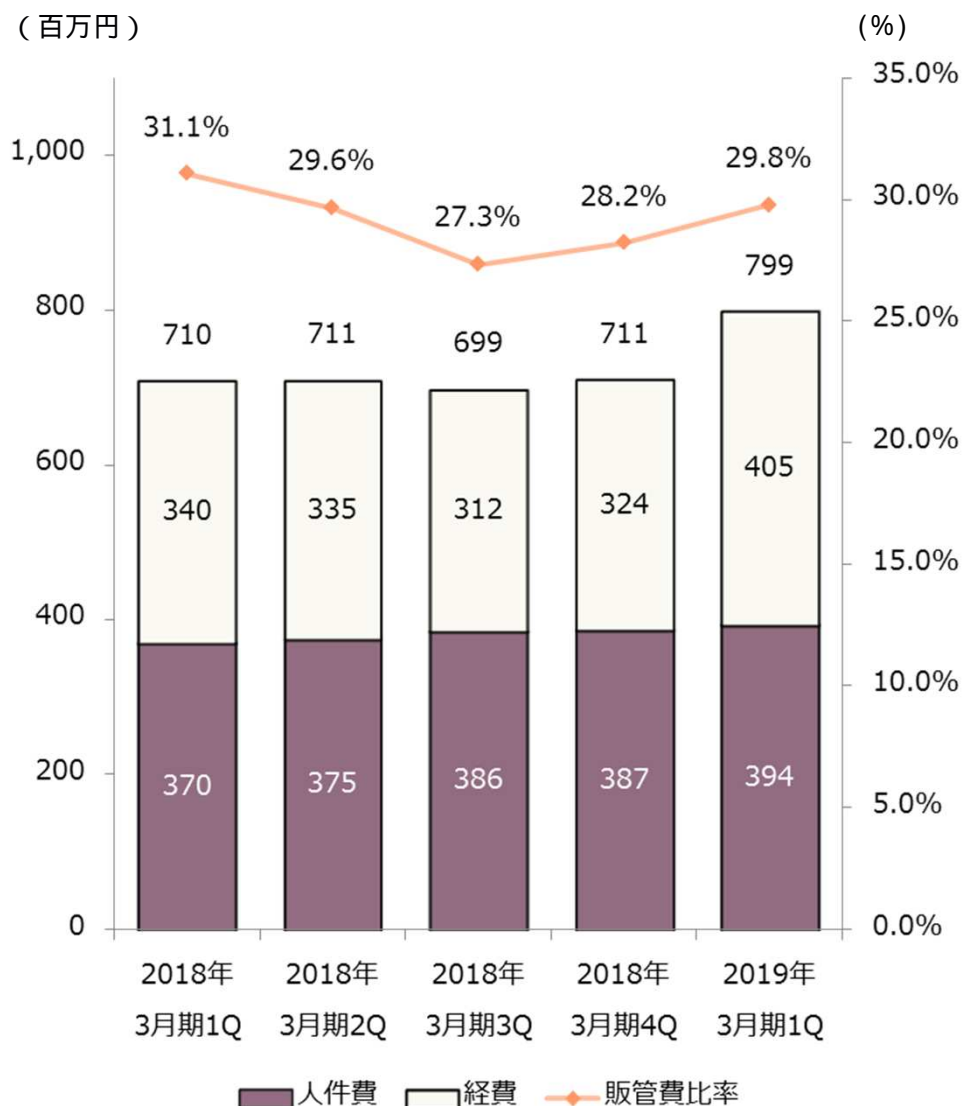


売上高増に対応する生産数量アップから、当期製品製造原価が前年同期比14.2%の増加となったほか、前年同期に比べ日進工具香港の連結における原価の減少が少なかったことから、売上原価は同18.8%増と売上高の増加（17.4%）を上回った。

この結果、売上総利益は1,577百万円と前年同期を16.4%上回ったものの、売上総利益率は58.7%と0.5ポイント低下。それでも他の四半期に比べ高めとなっているのは、第1四半期は日進工具香港の連結による押し上げ要因が出やすいことによる。

四半期業績推移（販管費の推移）

販管費と販管費比率の推移



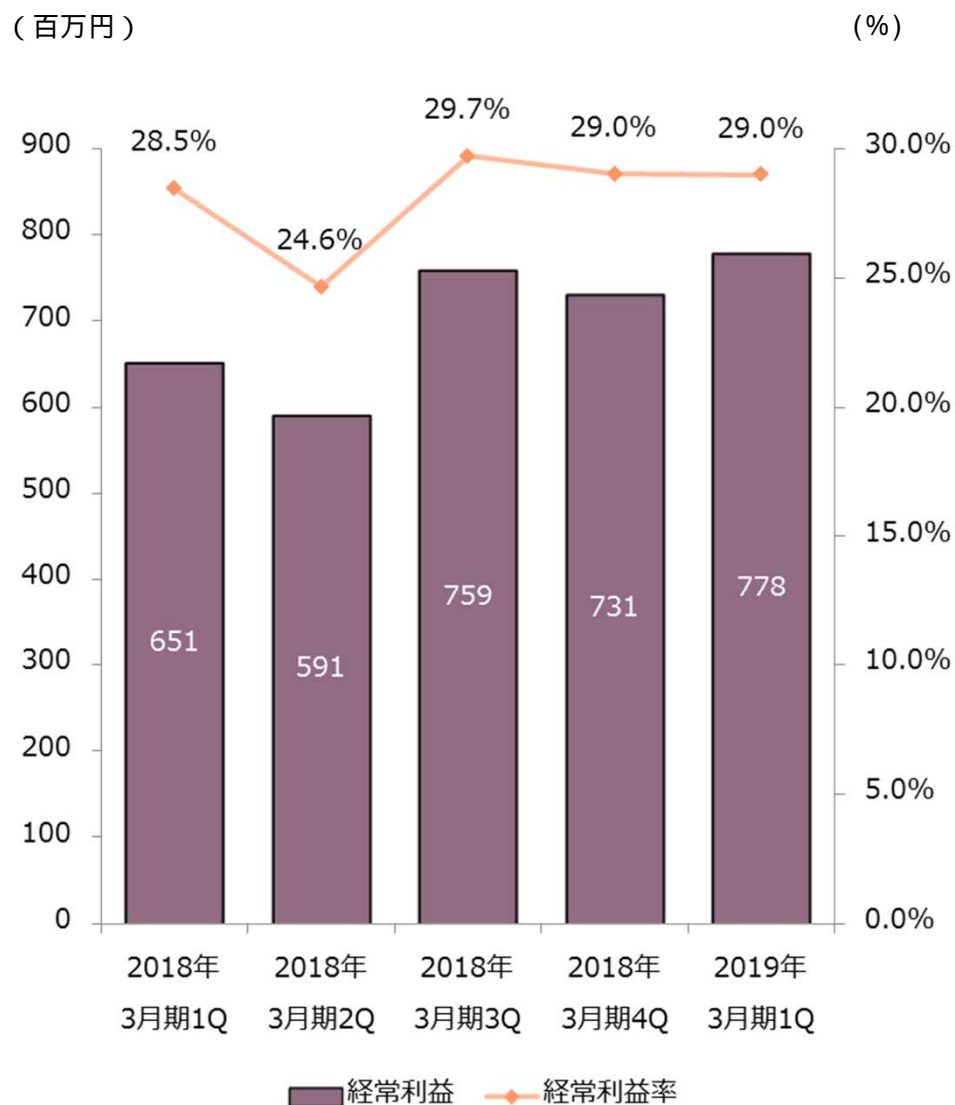
人件費は、人員増や賞与引当金の増額等から、前年同期比6.7%増加し394百万円。

一般経費は、「INTERMOLD」が大阪と名古屋、「機械要素技術展」も名古屋と東京での開催となり、展示会の数が昨年に比べ増えたことから、展示会費やそれに伴う交際費が増加したほか、広告宣伝費の増加もあり、405百万円と前年同期に比べ18.9%増加した。

販管費全体では、同12.5%増の799百万円。それでも売上高の増加率を下回ったため、売上高販管費比率は29.8%と1.3ポイント低下。

四半期業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



販管費が増加したものの、売上総利益の増加が上回り、営業利益は前年同期比20.6%増の777百万円。

営業外収益は、仙台倉庫を取り壊したため、物流企业への賃貸により得ていた受取賃貸料が無くなり4百万円と半減。営業外費用は、日進工具香港の為替差損等により3百万円を計上。

これらの結果、経常利益は同19.5%増の778百万円と前年度第3四半期の759百万円を上回り、四半期ベースでの過去最高を更新した。

売上高経常利益率は29.0%と前年同期を0.5ポイント上回り、直近3四半期連続で29%台を維持。ただし、秋口より原材料価格上昇の影響が出てくるほか、11月の大きな展示会（JIMTOF2018）や2年に一度行うカタログ改訂等の経費増により、利益率は低下する見込み。

2019年3月期の業績見通し



業績見通し

(百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	前期比	コメント
売上高	9,767	10,520	+7.7%	引き続き自動車、電子部品、半導体等の産業を中心に小径エンドミルの需要は堅調に推移すると予想。
営業利益	2,695	2,750	+2.0%	原材料費の上昇が見込まれる他、前期は無かった展示会（JIMTOF）や総合カタログの改訂等による費用を見込む。
経常利益	2,733	2,780	+1.7%	同上
当期純利益	1,903	1,910	+0.3%	同上
設備投資額	663	925	+39.6%	販売・生産量の増加に対応するため、工具研削盤や測定器等の設備増強を図る。
減価償却費	625	675	+7.9%	機械設備の増強による上昇を見込む。
EPS	152.23円	152.76円	+0.3%	
1株当り配当金	45円	45円	0.0%	利益水準を横ばいと想定していることに加え、今後の工場隣接地での新たな建物の建設資金を考慮し、年間配当45円を予定。

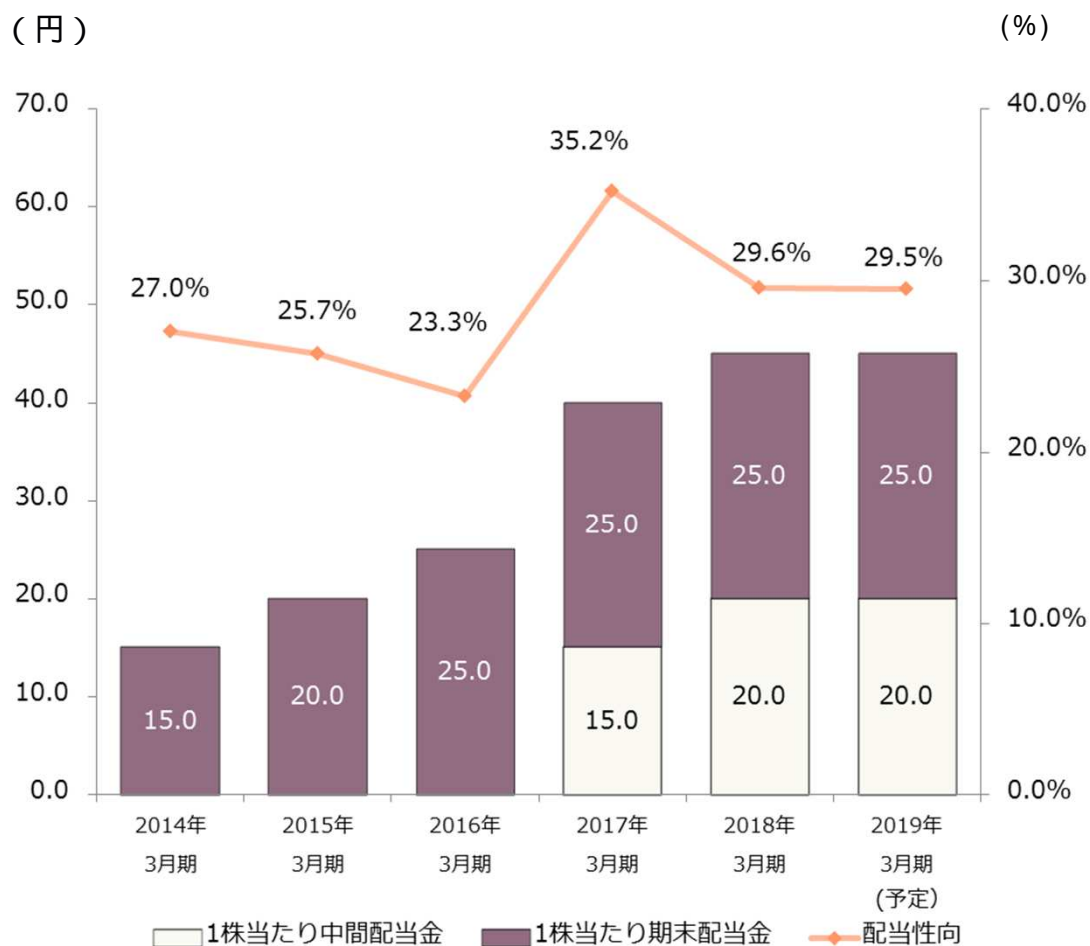
第1四半期における進捗状況

(百万円)

	2019年3月期 1Q累計	上期予想	進捗率	通期予想	進捗率
売上高	2,686 (+17.4%)	5,280 (+12.6%)	50.9%	10,520 (+7.7%)	25.5%
営業利益	777 (+20.6%)	1,420 (+15.8%)	54.8%	2,750 (+2.0%)	28.3%
経常利益	778 (+19.5%)	1,440 (+15.9%)	54.1%	2,780 (+1.7%)	28.0%
四半期純利益	486 (+18.1%)	970 (+6.9%)	50.2%	1,910 (+0.3%)	25.5%

()内は前年同期比増減率

配当予想（株主還元について）



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

業績に応じた利益還元

- 2018年3月期の1株当たり年間配当金は45円
中間配当は20円
期末配当は25円（普通配当20円、記念配当5円）
配当性向は29.6%
- 2019年3月期の1株当たり年間配当金は45円を予定
中間配当20円、期末配当25円
業績予想に対する配当性向は29.5%
利益水準を横ばいと想定していることに加え、
今後の工場隣接地での新たな建物の建設資金を考慮
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された
1单元（100株）以上を保有する株主様を対象に
オリジナルクオカード1,000円分を贈呈

自社株買いではなく
配当にウェイトを置く方針

< 参考資料 >



過去5年間の業績と主要データ推移

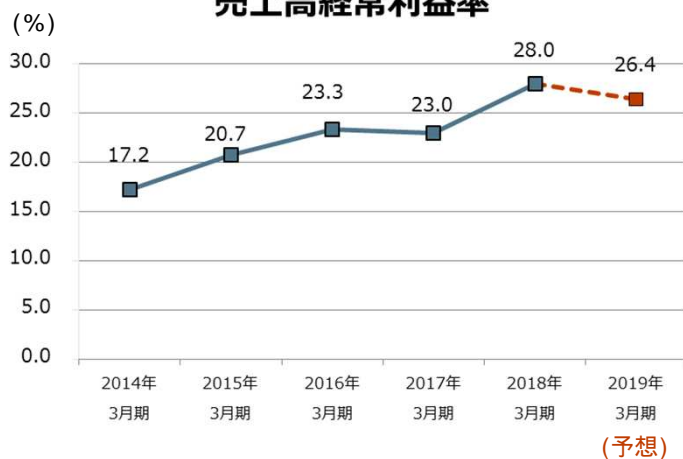
(百万円)

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
売上高	6,418	7,402	8,382	8,825	9,767
営業利益(率)	1,069 (16.7%)	1,481 (20.0%)	1,914 (22.8%)	2,013 (22.8%)	2,695 (27.6%)
経常利益(率)	1,107 (17.2%)	1,534 (20.7%)	1,954 (23.3%)	2,026 (23.0%)	2,733 (28.0%)
当期純利益(率)	694 (10.8%)	973 (13.1%)	1,342 (16.0%)	1,420 (16.1%)	1,903 (19.5%)
有利子負債額					
純資産額	7,680	8,480	9,569	10,666	12,002
総資産額	9,075	10,339	11,371	12,517	14,467
自己資本比率	84.6%	82.0%	84.2%	85.2%	83.0%
設備投資額	469	612	1,295	774	663
減価償却費	534	474	505	632	625
1株当たり配当金	15円	20円	25円	40円	45円
従業員数	284人	281人	280人	322人	338人

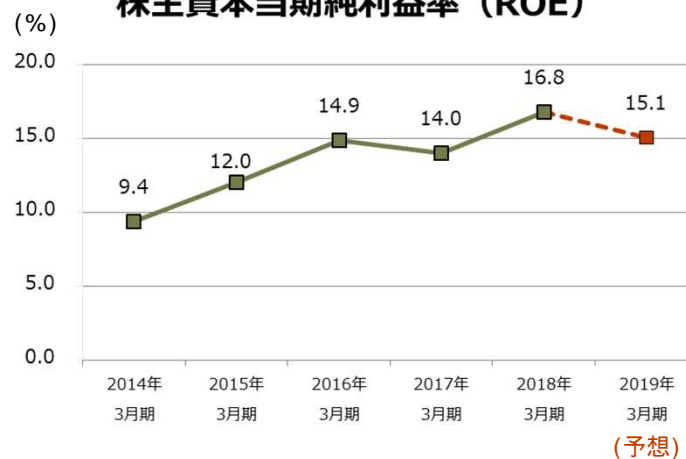
2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています
2017年3月期の従業員数の増加は、非連結子会社の連結子会社への統合の影響

投資指標

売上高経常利益率



株主資本当期純利益率 (ROE)



1株当たり当期純利益 (EPS)



株価収益率 (PER)



株価純資産倍率 (PBR)

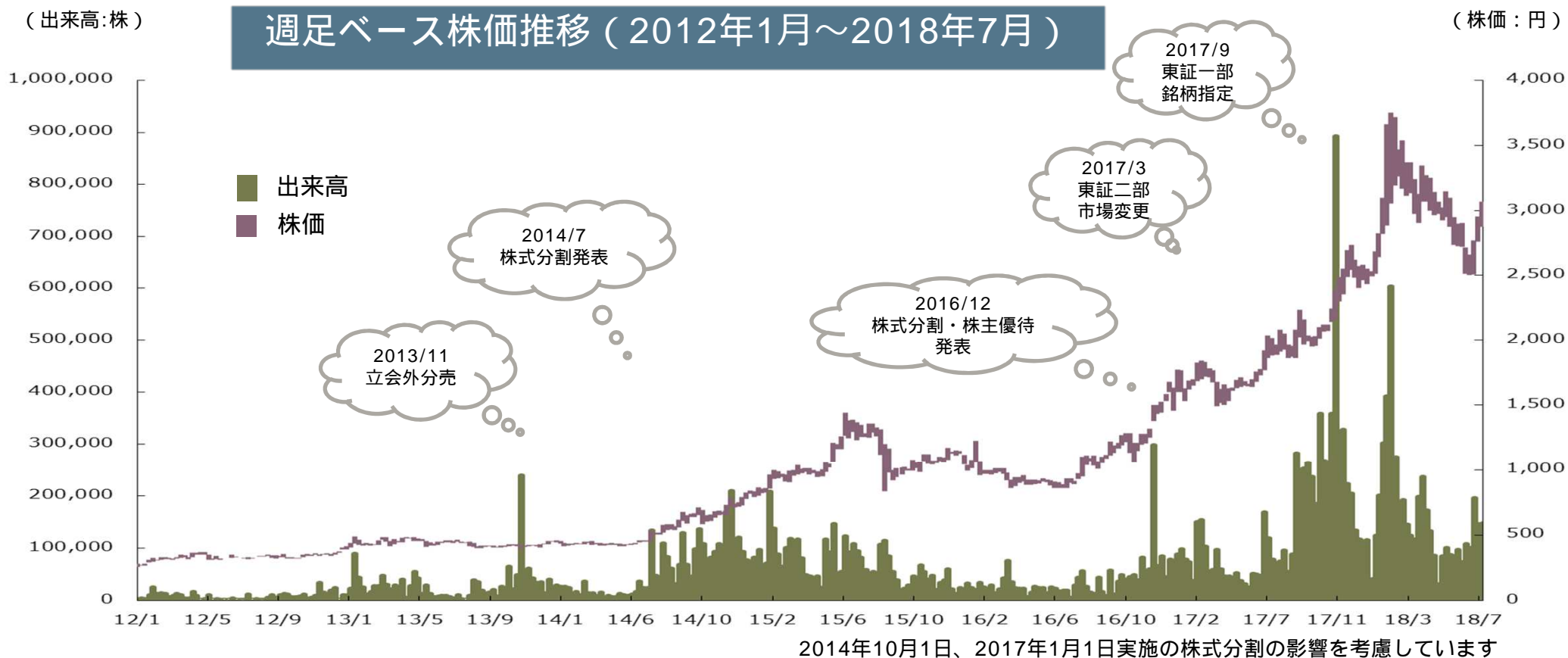


時価総額 (3月末時点)



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション



バリュエーション (2018年7月25日現在)

売買単位：100株

時価総額：365億円

ROE (18/3期実績)：16.8%

単元株価格：29万2,100円

PER (19/3期予想)：19.12倍

PBR (18/3期実績)：3.04倍

IR情報サイトのご案内

NS TOOL

お知らせ | お問い合わせ | サイトマップ | English

製品情報 | 事例・技術情報 | 会社情報 | 採用情報 | **IR情報**

TOP > IR情報

Investor Relations

IR情報

東証一部 コード: 6157

IRトピックス

お知らせ 2018.06.26
第57回定時株主総会議決権行使結果[PDF](189KB)

お知らせ 2018.06.25
2018年3月期 年次報告書[PDF](827KB)

お知らせ 2018.06.22
第57回定時株主総会プレゼン資料[PDF](692KB)

IRトピックス

お知らせ 2018.07.19
スーパーミニマムチャレンジに協賛します[PDF](175KB)

臨時発表 2018.07.17
株式報酬型ストックオプション(新株予約権)の発行内容の確定に関するお知らせ[PDF](85KB)

お知らせ 2018.06.25

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

個人投資家の皆様へ

IRトピックス・IRニュース

IRカレンダー

+ 経営方針・体制

+ 事業戦略

+ 業績・財務情報

+ IRライブラリー

+ IRイベント

+ 株式情報

よくあるご質問

IRサイトの使い方

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます
現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます

URL : <http://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員経営企画室長	田島 寛
管理部経理課課長	今関 弘毅
管理部 I R 担当	松尾 友紀子

TEL : 03-3763-5672
FAX : 03-3764-8225
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。